

SKYMENU 活用授業 実践レポート

名前	中村 彰良	学校名	山江村立山田小学校
実施学年	小学校5年生	教 科	社会科
単元名	自然災害を防ぐ		

«学びを深めたいポイント»

日本では、毎年のように自然災害が発生し、各地で大きな被害をもたらしている。児童が暮らす地域でも、令和2年7月の豪雨災害により、至る所で被害が発生し、今もなおその爪痕が残っている状況である。

そこで本実践では、児童のこれまでの経験をもとに課題意識をもたせ、主体的に問題解決していくことができるような展開を構想した。災害が発生する仕組みや、国や県、村などが行っている取組を調べることを通して、自然災害が国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るためにさまざまな対策や事業を進めていることが理解できるようにした。

«SKYMENU 活用のポイント»

本実践で活用した主な機能は、「発表ノート」と「気づきメモ」である。

「発表ノート」の活用では、毎時間の学習内容を「発表ノート」にまとめさせ、児童同士で学び合う際の資料として活用できるようにした。また、毎時間の学習内容が「発表ノート」にポートフォリオとして蓄積し、学びを振り返ったり、再構成したりできるようにした。

「気づきメモ」の活用では、調べたり、考えたりした内容を、すぐに「気づきメモ」に入力することで、スピード感をもって調べ学習に取り組むことができるようになります。また、「気づきメモ」を介して、児童同士で情報を共有し、必要に応じて自分の学びに活用できるようにした。

«実践内容»

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	I 本時のめあてを確認する。	○「資料置き場」にある、本時の学習の流れを示したシートをもとに、学習の見通しをもつ。 	○「発表ノート」の「資料置き場」にある本時の学習の流れのシートを、児童が自分の発表ノートに取り込み、流れを確認して学習の見通しをもつ。

展開	<p>2 課題解決に向けて活動する。</p> <p>(1) 地震が発生する仕組みについて調べる。</p> <p>(2) 地震による災害に対する取組について調べる。</p> <p>(3) 調べたり考えたりしたことと共有する。</p>	<p>○調べた内容を「気づきメモ」に入力する。</p>  <p>○「気づきメモ」内の情報を発表ノートに取り込む。</p>  <p>○「発表ノート」にまとめた内容を伝え合う。</p> 	<p>○調べた内容を「気づきメモ」に入力することで、効率的に記録する。</p> <p>○「気づきメモ」の内容から、児童自身が重要なと思う情報を取捨選択しながら、自身の「発表ノート」に取り込むことで、効率的に学びを整理したり、まとめたりする。</p>
	<p>3 本時の学習をまとめめる。</p> <p>【まとめ】 地震は内陸の断層によって起こる。また、災害の対策として、国や県などは、地震の前ぶれを知らせたり、災害時の対応を考えたりしている。</p>		<p>○本時の学びをまとめた「発表ノート」を活用することで、根拠をもって伝え合い、学びを深める。</p>
	<p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>○板書を「カメラ」で撮影する。</p> 	<p>○振り返りを「発表ノート」に入力したり、板書を「カメラ」で撮影したりすることで、本時の学びを蓄積したり、見返したりすることができるようにする。</p>

«実践を振り返って»

本実践に限らず、毎時間の学習内容を「発表ノート」にまとめることや、学びを伝え合う際の資料として活用すること、その蓄積をもとに、自身の学びを振り返らせることをねらいとした取組は行っており、一定の成果を感じていた。一方で、児童によって調べ学習に要する時間に個人差があり、知識の習得が不十分であったり、考えの深まりが見られなかつたりと、課題もあった。

しかし、今回、「気づきメモ」を活用したことで、課題の解決につなげることができた。例えば、ノートに記入することが苦手な児童は、気軽に「気づきメモ」に入力して記録を残したり、教科書から必要な情報を読み取ることに時間がかかる児童は、他の児童がメモした内容を参考にして学習を進めたりと、児童は自分に合った学習方法を選択できるようになり、学習に向かう意欲が高まったと考える。

「発表ノート」や「気づきメモ」の活用は、学び方の選択肢がより広げることにつながった。苦手なことに時間を要し、本質的な活動がなかなか進まなかつた児童にとっては、学びのストレスが軽減したのではないかと思う。今後も SKYMENU の機能を効果的に活用し、児童が主体的に学べるようにしていきたい。